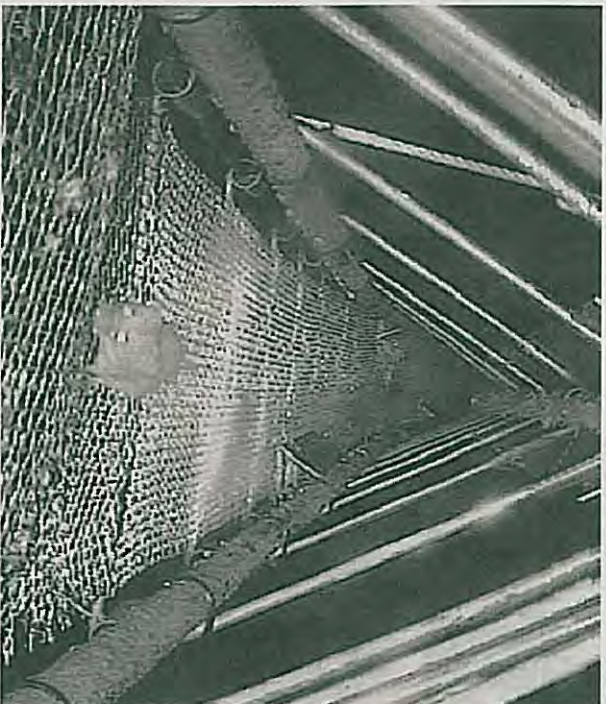


北社市とキーゾ協会が昨年設置した同市大泉町西井出の動物専用の横断陸橋「アニマルパスウェイ」で、ヤマネなどの小動物が頻繁に横断する姿が確認されている。定期的な橋に設置したビデオカメラで観察して、1日に延べ20匹をとらえた日もあった。同協会は橋の増設を考えている。

# ヤマネ横断陸橋すいすい

同協会によると、横断陸橋の設置に合わせて小動物を観察する研究会が発足し、橋に取付けた二十四時間撮影のカメラで行動を調査してきた。橋ができてから十七日後に初めて小動物を確認、これまでヤマネやヒメズミ、ニホリスなど延べ九百匹を撮影した。研究会メンバーの同協会やまねミュージアムの湊秋作館長は「当初の予想よりも多くの小動物が橋を渡っている」と話す。

研究会は新たな橋を設置する方向で、十月から建設地の調査に入る。湊館長は「アニマルパスウェイは世界的に注目される取り組みで、橋を増



アニマルパスウェイを横断するヤマネ 北社市大泉町西井出



## 北社市とキーゾ協会 小動物延べ900匹確認

として動物保護に効果があることを立証していきたい」と

張り切っている。横断陸橋は高さ六・四メートル、長さ一三・六メートルで、ヤマネの横断中の小動物が車にはねられるケースがあったことから計画された。

た。費用は約二百万円。森林内の道路整備が進み、道路を横断中の小動物が車にはねられるケースがあったことから計画された。